

十日町市民憲章

十日町に生きる私たちは日本にほんを生きる

日本にほんに生きる私たちは世界を生きる

世界に生きる私たちは宇宙を生きる

私たちをつくるのはひとりひとりのヒト

ヒトはひとりです。どう生きるかの技アートを求め

ヒトはヒトとどう創つくるかの技アートを究める

野に山にヒトは学び 里むらに町にヒトは勤いそしむ

縄文ほのおの炎きょうを今日きょうに伝えて 雪しろの白あすに明日えがを描えがき

限りない大空のもと 十日町市の大地ちのちに生きる

十日町市は市制施行10周年を迎えました。
これまでの道のりを振り返り、そして、
十日町市の誇りをもって未来へと進むため、
ここに市民憲章を定めます。
十日町市と、ここに生きる私たちの道標として—。

市民憲章ができるまで

市民から市民憲章に入れたい言葉を募集したところ、雪・縄文・芸術・思いやりなど、さまざまな言葉が集まりました。十日町市に縁のある谷川俊太郎さんが、その集まった言葉に込められた市民の思いや願いを基に起草しました。

谷川俊太郎さん プロフィール

東京都出身。詩人、翻訳家、絵本作家、脚本家。大地の芸術祭作品「夢の家」から2012年に書籍化された「夢の本」に寄稿。「二十億光年の孤独」「生きる」「朝のリレー」「愛する人のために」(以上詩作品)、「スイミー」「スヌーピー」(以上翻訳)、「鉄腕アトム」(作詞)他、脚本や絵本、評論、エッセイなど多数の作品がある。



CONTENTS

- 2 → Tokamachi 2005—2015
写真と年表で振り返る合併からの10年
- 12 → 「十」日町市民「十」人に聞きました
私の「十」日町、私の「十」年後。
Tokamachi 10 dreams
- 18 → 十歳の十日町っ子が語る十の夢。
- 20 → 【移住者座談会】
とおかまちファンが語る
十日町市のいまとみらい
- 23 → いつも「とおかまち」を胸に
～応援しています。私の故郷～
- 24 → とおかまち「十」景
～未来に残したい十日町市の10の風景～
- 28 → 【特別寄稿】とおかまち随想
佐野 良吉 氏 カール・ベンクス 氏
池田 史子 氏 北川 フラム 氏
- 32 → 10年を機に描く十日町市の未来ストーリー
十日町市長 関口 芳史